

エコアクション21  
環境活動レポート

2010

2010. 1~2010. 12



株式会社 山小電機製作所  
発行日： 2011年6月22日

## 事業の概要

### ■事業者名及び代表者名

株式会社 山小電機製作所  
代表取締役社長 小湊 清光

### ■所在地

〒144-0033  
東京都大田区東糀谷4-6-20

### ■事業内容（認証・登録の対象活動範囲）

- ・制御卓、分電盤、配線盤、標準ラック、警報表示盤、HUB收容箱、各種通信機器の設計及び製作
- ・搬送無線及び移動体通信工事材料の設計・製作・販売ならびに取付工事及びこれらに付帯する業務

### ■環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

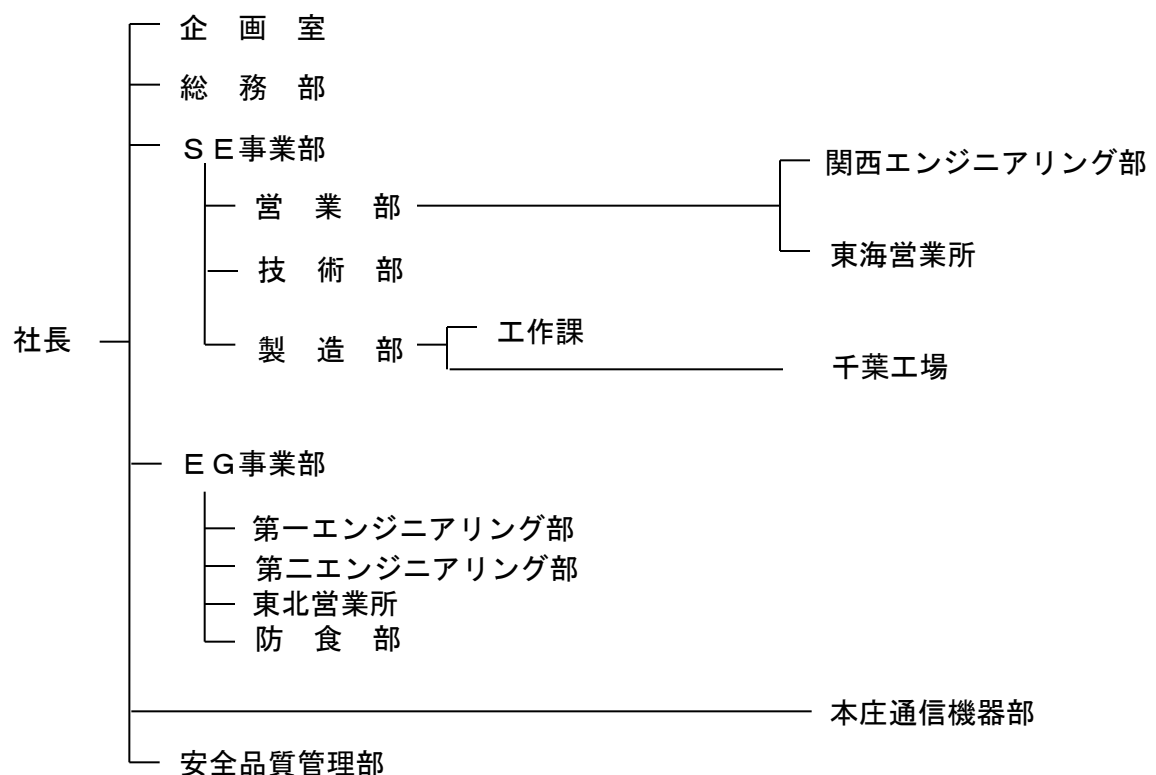
環境管理責任者兼  
環境管理委員会委員長 総務課長 石川 恭規（2011.05指名）  
連絡先：電話 03-5735-3311  
FAX 03-5735-3330

### ■事業の規模

売上高 2,443百万円（平成22年度）  
従業員数 140名（平成23年6月現在、全社在籍人数）  
本社延べ床面積 5,051㎡  
本社敷地面積 2,749㎡



## 会社組織



# 環境方針

## 【環境理念】

株式会社 山小電機製作所は、かけ替えの無い地球の環境保全に対する取り組みの重要性を一人ひとりが認識し、事業活動を通して地球環境への負荷軽減に努力し、社会に貢献します。

## 【基本方針】

当社の事業活動である通信建設用機器、部材の開発、設計、製造、販売及び施工の活動において、これらの活動が環境に与える影響を常に認識し、以下の活動を継続的に実施します。

1. 当社の事業活動によって発生する環境負荷を低減するために、以下の事項に取り組みます。
  - 1) 省エネルギー活動を推進し、二酸化炭素排出量の抑制を図ります。
  - 2) 資源の効率的利用を推進し、廃棄物の削減を図ります。
  - 3) 廃棄物のリサイクル化を推進し、資源の有効利用に努めます。
  - 4) 有機溶剤について可能な限り代替物質等への転換を促進し、有害化学物質の排出量削減に努めます。
  - 5) グリーン購入を推進し、環境汚染物質、有害物質の含有量の少ない製品設計に努めます。
  - 6) 節水に努め、水資源使用量の削減を図ります。
2. 適用される環境関連の法律、条令及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 環境目標を設定し、定期的な測定・監視及び見直しによって、継続的改善を図ります。
4. 環境方針、環境目標及び環境保全活動は、環境教育、社内広報活動等により、全社員に周知し、全員参加の環境保全活動を推進します。
5. 環境方針は、広く社外にも公表します。

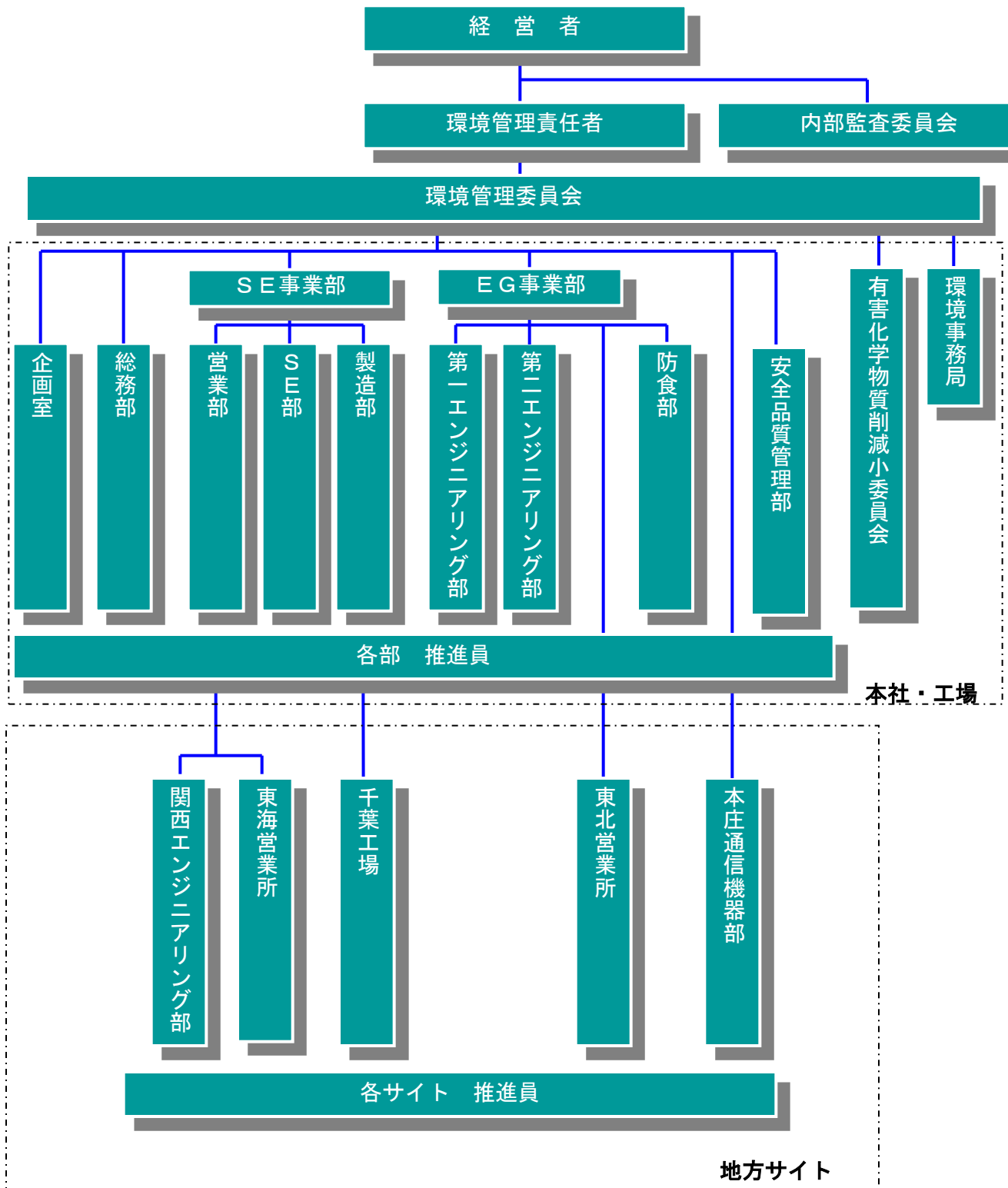
制定：平成19年6月1日

改定：平成23年6月21日

株式会社 山小電機製作所

代表取締役社長 小湊 清光

## 環境マネジメントシステム実施体制



## 環境目標と実績

### 1. 中期目標

当社では2009年度の全社拡大に伴い、2008年度を基準年として、中期目標を策定しており、2009年度～2011年度までの環境目標を次のように定め、環境負荷低減に取り組んでいますが事務用品環境配慮物品購入品目率は2008年基準年にて決定できなかったため2009年実績値を基準とし、また、総排水量に関して2009、2010年度実績が未達成のため2011年の目標を2008年基準年維持と中期計画を変更いたしました。また、今期確定後、中期目標（3カ年計画）を策定いたします。  
(経営者の見直しにて承認)

(2009年～2011年の目標値は基準年対比)

目標項目	基準年(2008年)	2009年	2010年	2011年
二酸化炭素排出量	1,365 Kg-co <sub>2</sub> ／売上1,000万円	-1.8%	-1.8%	-1.8%
廃棄物排出量	361 Kg ／売上1,000万円	2008年 実績維持	2009年 実績維持	2010年 実績維持
有害化学物質排出量	4.8 Kg ／売上1,000万円	評価継続	-25%	-25%
コピー用紙の使用量削減	4,316 枚 ／売上1,000万円	-9.3%	-12%	-12%
事務用品環境配慮物品 購入品目率	65%	68%	70%	70%
総排水量	1,701 m <sup>3</sup>	2008年 実績維持	2008年 実績維持	2008年 実績維持

### 2. 2010年度の実績と取組結果の評価

① 二酸化炭素排出量		売上高 13.2%減少(基準年に対して)						評価
単位	2008年(基準年)	2009年	2010年			2011年		
	実績	実績	目標	実績	増減率	目標		
総量	384,559	373,305	---	369,502	-3.9%	---		
原単位当り	1,365	1,398	1,340	1,513	+10.8%	1,340	×	

二酸化炭素排出量  
(Kg-CO<sub>2</sub> 原単位当り)

2008 2009 2010 2011 年

電力使用量  
(KWh 原単位当り)

2008 2009 2010 2011 年

化石燃料使用量  
(L 原単位当り)

2008 2009 2010 2011 年

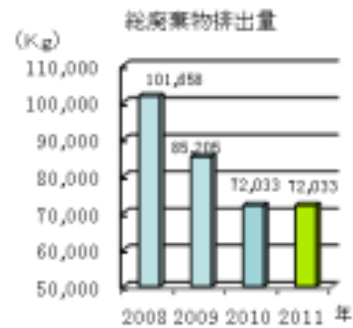
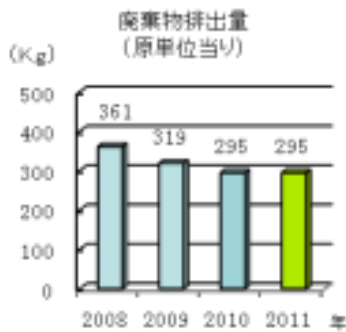
  

【取組の評価】	電力排出係数 0.378Kg-Co2/KWh
<p>二酸化炭素排出量は基準年対比+10.8%で、2009、2010年度とも目標を達成することができませんでした。2010年度も2008年度に比べて売上1千万円単位当たりで増加してしまいましたが、売上の減少が総量の減少以上に大きかったためであると考えられます。また、原単位と総量の増減が、不自然なため、中期計画では、総労働時間及び総量のみでの再検討が必要と思われる。今期の総労働時間での増減率は-15.4%となった。</p> <p>当社の二酸化炭素排出の主要要因は、電力の消費によるものですが、昨年とは違い、電力使用量かなり増加しておりますが、総量において-3.9%と減少している点から考えるに活動計画に上げた“照明消灯・電源断の徹底”や“冷暖房設備の温度管理”等の実施が着実に実行されていることの表れであるものと思われま。</p>	

## ② 廃棄物排出量

売上高 13.2%減少(基準年に対して)

	単位	基準年(2008年)	2009年	2010年			2011年	評価
		実績	実績	目標	実績	増減率	目標	
総量	Kg	101,658	85,205	---	72,033	-29.1%	---	
原単位当り		361	319	319	295	-7.5%	295	○



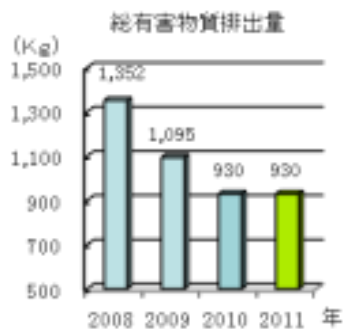
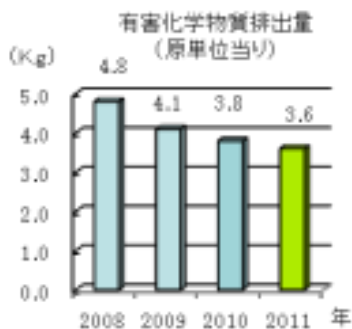
## 【取組の評価】

2010年度の廃棄物排出量は基準年対比で-7.5%もの削減をすることができ、現状維持の目標においてクリアすることができました。また、総廃棄物排出量においても基準年を大幅に削減することができ、このことは、廃棄物の分別・リサイクル化も含め、特に金属類・ケーブルの分別が徹底されてきた結果と考えています。

## ③ 有害化学物質排出量

売上高 13.2%減少(基準年に対して)

	単位	基準年(2008年)	2009年	2010年			2011年	評価
		実績	実績	目標	実績	増減率	目標	
総量	Kg	1,352	1,095	---	930	-31.2%	---	
原単位当り		4.8	4.1	3.6	3.8	-21.9%	3.6	×



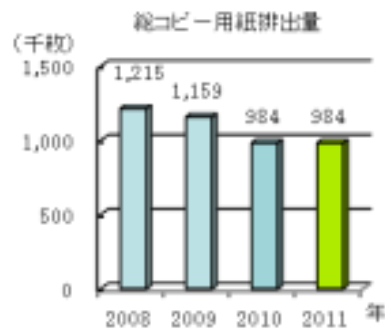
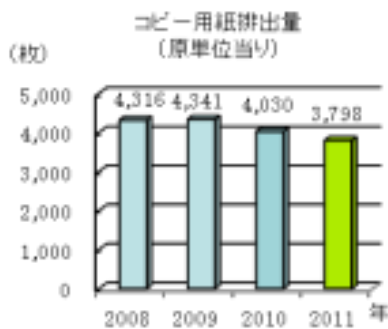
## 【取組の評価】

2010年度の有害化学物質排出量は基準年対比で21.9%もの大幅な削減をすることができましたが、目標の25.0%はクリアできませんでした。また、総有害化学物質排出量については31.2%もの削減することができ、有害化学物質削減は徹底がされてきたと考えています。次年度は当社において、一番効果のあると思われる、シンナー類の検討を考えております。

## ④ コピー用紙使用量

売上高 13.2%減少(基準年に対して)

	単位	基準年(2008年)	2009年	2010年			2011年	評価
		実績	実績	目標	実績	増減率	目標	
総量	枚	1,215K	1,159K	---	984K	-19.0%	----	
原単位当り		4,316	4,341	3,798	4,030	-6.6%	3,798	×



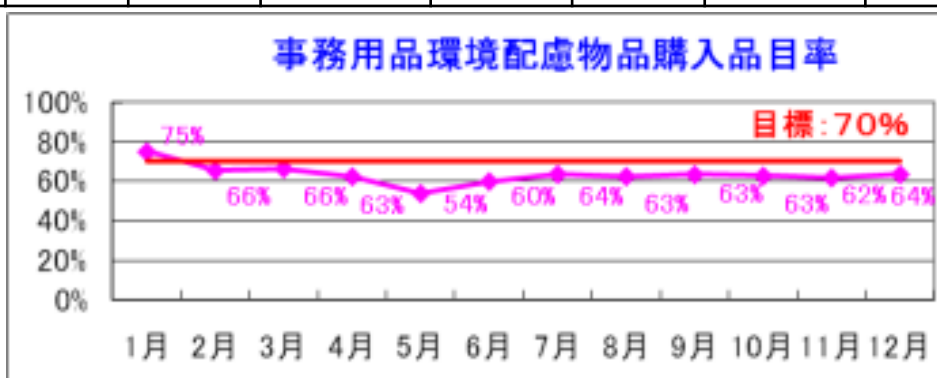
## 【取組の評価】

コピー用紙使用量については、基準年対比-6.6%となり、目標を達成することができませんでした。

しかし、総量では2008年度に比べると19.0%も削減され、かなり改善されてきており、裏紙使用の推進や個別に配布資料の一部見直し等を実施した効果が、徐々に表れてきているものと思います。今後も新たな施策を考え、目標達成に向け努力し、確実な削減に各部門取り組んでいきます。

## ⑤ 事務用品環境配慮物品購入品目率

	単位	2008年	2009年(基準年)	2010年			2011年	評価
		---	実績	目標	実績	増減率	目標	
購入品目率	%	---	68%以上	70%	64%	-6ポイント	70%以上	×



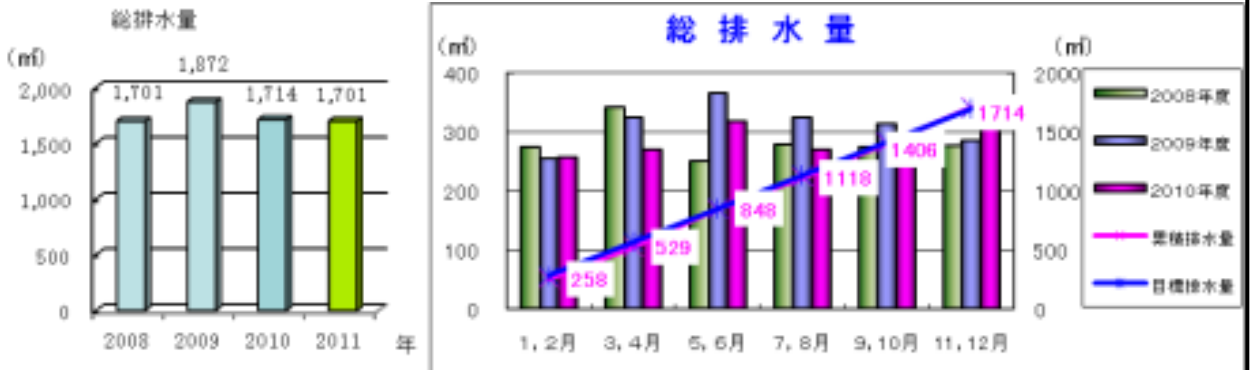
## 【取組の評価】

2008年度については、測定不能となっていました。2009年での仮目標68%に対して2010年は64%と6ポイント目標を達成することができませんでした。

しかし、測定不能だった2008年に比べるとかなり購入品目も増加し、2011年度も、3カ年計画の70%以上を目標とし、より一層の環境配慮物品の使用を進めていきます。今後は新ガイドラインに沿って、事務用品に限らず、各種部品等にも拡大していくことを検討しながら目標達成に取り組んでいきます。

## ⑥ 総排水量

	単位	基準年(2008年)	2009年	2010年			2011年	評価
		実績	実績	目標	実績	増減率	目標	
排水量	m <sup>3</sup>	1,701	1,872	1,701	1,714	+0.8%	1,701	×



## 【取組の評価】

総排水量の削減については、基準年対比で0.8%の増加と目標を上回ってしまいました。

総排水量の月別グラフで、5、6月が高い数値を表しており、2010年度の3階通信機器部の漏水があり、それが起因しているのではないかと考えられます。また、基準年である2008年度がかなりの節水効果が表れた年で当初の効果で一挙に削減できたのに比べ、これ以上の削減はかなり難しい状況ですが、より以上の削減策を模索し、さらなる削減に努めていきます。

尚、2011年度の目標は2009、2010年が未達成のため、再度、2008年度維持を目標といたします。

## 主な環境活動計画の内容

項目	活動内容	対象
省エネルギー	休憩時間、無人スペースの消灯	全部門
	未使用PCの元電源の検討(コンセントスイッチ)	
	冷暖房設備の温度設定管理(夏:27度、冬:21度)	
	帰宅時の製造設備類の主電源切断	
	塗装乾燥機の稼働時間短縮	製造部
	エコドライブの継続	全運転者
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物の分別徹底	全部門
	古紙のリサイクル化推進	
	金属くずの分別、リサイクル化推進	
化学物質の適正管理	塗装ブースの定期的な点検・メンテナンスの実施	製造部
	排気口での測定監視	
有害化学物質の削減	エコタイプ塗料への転換	製造部・技術部
緊急事態への対応準備	緊急事態発生を想定した訓練の実施	全部門
	有機溶剤保管量の適正化(保管量の把握と管理)	製造部
事務用品の環境配慮物品調達推進	環境配慮物品購入の推進 ①全体朝礼での周知 ②購入価格の検討	全部門
節水	節水コマの設置	全蛇口 (可能箇所)
	トイレの水量調節	
	女子トイレへの消音器具設置	女子用トイレ
社会貢献活動	エコキャップ運動への参加	全部門

## 活動実施状況

2010年度計画に基づき、実施した活動状況の一部を以下に記載いたします。活動開始当初1年目は著しい削減効果が現れましたが、4年が過ぎ、現状維持を保つことが厳しい状況になってきています。様々な取り組みを今後続けていくよう、努力いたします。



意識高揚の見える化



室内の温度管理



消防・緊急事態の訓練(1)



消防・緊急事態の訓練(2)



化学物質の定期管理



有害化学物質の流失防止パッド設置状況

## 経営者の見直し結果

2010年度は、エコアクション21環境経営システムの活動において、少し停滞気味なので推進委員による抜き打ちパトロールの実施・環境管理責任者の交代を計ってシステムの運用を充実していき、今期終了時には新規3ヶ年計画を策定致します。また、4半期毎の全体朝礼において、活動状況を周知し、組織の全体での、より一層の維持活動を推進してまいります。また、節電対策として、室内指定温度を冬期20℃、夏期28℃の設定に変更します。

## 東京都省エネルギー診断の結果

2010年10月に、東京都温暖化防止活動推進センターによる、省エネルギー診断を受診し、以下のような報告がありました。現在、節電対策も含め、積極的に助成制度を利用するべく、検討中であります。

- 例) 1. 蛍光灯のルーバーをはずす (実施済)
2. パソコンの待機電力を遮断する (実施済)
3. デマンド管理の導入
4. 変圧器容量の適正化
5. 空調機の高効率型に更新
6. 旧式蛍光灯のHf化
7. 水銀灯・ハロゲン灯の高効率化
8. 中央電気給湯器の分散化
9. 水道契約口径の見直し

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無について

当社の事業活動に関連する環境関連法規は以下のとおりであり、確認の結果適正に遵守されておりました。また、過去4年間において行政等からの指摘、訴訟かつ自らの違反はありませんでした。

環境関連法規名	遵守事項	確認結果
東京都環境確保条例	公害防止管理者の選任及び届出	適合
	有害ガス排出規制基準の遵守	適合
	特別管理産業廃棄物管理責任者の設置・届出	適合
	化学物質管理方法書の提出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の保管基準の遵守	適合
	廃棄物の運搬及び処理に関する許可業者との委託契約の締結	適合
	マニフェストの管理	適合
	産業廃棄物最終処分場への視察・確認	適合
大田区廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	廃棄物管理責任者の設置・届出	適合
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び改善の促進に関する法律	第一種指定化学物質又は適正管理化学物質の排出量及び移動量又は使用量等の届出	適合
特定家庭用機器再商品化法	対象機器を廃棄する場合、再商品化のための適正な引渡し	適合
高圧ガス保安法	高圧ガスボンベの保管・環境の維持	適合
フロン回収破壊法	適正な回収・破壊によるフロン類の大気中への放出抑制の遵守	適合
PCB廃棄物特別措置法	PCB廃棄物の保管及び処分の状況の届出	適合
消防法	危険物貯蔵所設置及び変更の届出	適合
	危険物保安監督者の届出	適合